

新刊紹介

○英領東阿弗利加事情 海外商報臨時増刊、第一六三號外務省通商局編纂、大正十四年六月十七日

日刊の海外商報の中に臨時増刊として出されたこの東阿弗利加事情は主として在ケープタウン今非領事の報告であるが、一部二百四頁の大冊であつて第一篇ザンシバル保護國十八章第二篇ケンヤ殖民地及保護領三十三章、第三篇ウガンダ保護國二十三章第四篇委任統治地タンガニカ領三十五章第五篇ナイアサランド保護國十七章の五編百二十三章の大本で近來稀に見るこの方面の最新智識である、この方面の人文産業をはじめ英國の活動と其の沿革を知るに典據とすべきものであると信する、本號特價八拾錢、讀者に一本の購入をすゝめる。東京丸之内ビルテング七二九區海外商報社で取次してくれる。

○温泉の研究 理學博士小川琢治編、大正十四年五月十日内外出版株式會社發行

本書は地球學園が昨年夏期に出版した地球温泉號を新に裝釘して出版したものである。博士の序文にある通り、蓋し日本人は温泉を好愛することに於て世界無比の民である。しかしながら温泉を研究するさいふ點に至つてはまた十分さいへない。本書がもしそれらの手引ともなれば幸である、三百頁菊版の美しい手頃な本である。定價貳圓

○河の自然現象 陸軍教授山川鐵三郎著、大正十四年六月二十日東京寶文館發行

本書には河の自然現象を三二章に分つて極めて平易にわかりやすく説いてある、文章も流暢であり、挿圖も多い、例を日本に取つた寫眞の多いのが何よりうれしい。鹿兒島の鯉池、木曾のかけばし、紀州瀨八丁、甲斐の猿橋、山城の笠置、鹿兒島池田湖の斷崖、天龍峽、神居古澤、秩父赤壁、戰場ヶ原、須賀川乙字の瀧、鹿兒島川添の瀧の甌穴、同萬瀬川瀧の瀧、備後常釋の雌橋、玉川の上流、保津川の急流、利根の下流、鹿兒島の大黒川、石狩川さかく並べる丈けでも著者が蒐集の苦心を偲ばればなるまい、残念ながらカットには出来の悪いのもあるが、河の自然現象に關しては餘程面白く讀まれる本である。定價參圓貳拾錢

○大日本國勢地理 栗原寅治郎著、大正十四年五月、大同館發行

本書は帝國の國勢を明にせんためその著者の抱負で自然的方面、人文的方面、文化的方面、經濟的方面、政治的方面に互つて一般的に概説してある、常識養成の好手引である。地方小學校などで補習教育をする人々におすゝめしたい。定價參圓八拾錢